

『研究と活動の報告』

富士南麓における森林の復元活動

- 2006年の活動報告

中村華子

当クラブでは 2003 年から 5 年間、関東森林管理局静岡森林管理署と「山の自然学クラブ・富士山森の復元活動」という協定を締結して、富士山の国有林で森林復元活動を始めました。ここに、2006 年の活動報告と 2007 年の活動計画について報告いたします。

協定林について

場所：富士山国有林 200 林班た小班 4.56ha

協定活動内容：「観察・記録・刈り出しなどの手入れを行い、従来の富士山の植生への復元・最善の育林方法の実施を目的とする行動」

「環境教育を目的とした活動」

他団体からの参加予定

これまでの活動成果から、いくつかの団体から活動への参加希望や観察会の案内要請がよせられ、2005 年から実施しています。今までの参加団体と活動内容は下記の通りです。

・NTT 労働組合

東日本本社総支部にて社会貢献活動を行っており、その一環として自然保護活動を企画。2006 年度はボランティア推進委員会 16 名で補植作業と自然観察会を試行実施。2007 年度以降も総支部全体で継続参加を希望。2007 年度の活動の詳細は今後検討。

・ハイキングクラブ四季

2005 年 10 月に 17 名で体験会・研修会を実施。2007 年には 4 月頃に 1 回の体験会・観察会を希望。詳細は今後検討。

部会の活動内容と名称

富士山での森林復元活動に参加しているメンバーを中心に、2007 年度から「自然再生活動部会」として富士山にかかわらず、山の自然学クラブとしてできる活動を行います(総会で承認されるまでは仮称です)。今後は広く会内外の方と連携を図って活動します。

会員のみなさまの参加・ご協力をよろしく申し上げます。

富士山での活動に関する国との協定について

国との 5 年協定は 2008 年 5 月までとなりますので、部会メンバーで契約継続の是非を検討しました。その結果、当会としてはできるだけ長く国との協定の継続を希望することが決まりました。今後も自然環境に合わせた再生活動を続けていきます。

今後は社会性・実効性を考えて、より多くの団体の受け入れを進める予定です。

2006年の活動報告

日程	作業内容	開催形態	参加 人数	内訳		その他
				会員	非	
2006年 4月1日-2日	冬を越した現地の状況を調査 今年植栽する苗を圃場から現地へ移す	2日間 裾野	5	1	4	苗木:農大 現地 NTT幹事が視察参加
2006年4月9日	翌週のための地寄せ	日帰り	2	1	1	植栽箇所整地等
2006年 4月15-16日	2003年採取種子から作った苗木を補 植・現地見学会(NTT労働組合のボラ ンティア推進委員が参加)	2日間 (NTTは日帰り) 富士教育研修所	7	19	26	NTT16名 苗木の補植 + 現地案内, 観察会:西臼塚周辺
2006年4月23日	植えきれなかった苗の補植	日帰り	5	2	3	
2006年5月14日	富士山ボランティア協議会の植樹会に 参加(広葉樹植林)	日帰り	4	2	2	2005年植栽の苗木の測定 も行う
2006年5月21日	下刈り試験地の調査 測定 試験地の囲い整備	日帰り	7	4	3	
2006年6月10日	荒廃箇所の階段工(土留め)とウツギの 挿し木	日帰り	8	6	2	
2006年6月11日	マメザクラの種子採取 林道から山取苗採集	日帰り	4	2	2	
2006年7月2日	都内にて自然再生部会(仮称)打合せ	ウィメンズプラザ にて	10	8	2	これまでの活動の確認と 今後の方針検討
2006年7月17日	7/23のコースの下見	日帰り	2	1	1	
2006年 7月22-23日	<第253回現地講座> 下刈り作業、土壌流出防止作業 現地見学会(宝永山から水が塚コース)	2日間 富士教育研修所	17	8	9	22日に協議会の下刈りあ り・大森が参加
2006年8月5-6日	下刈り作業、土壌流出防止作業	2日間	11	7	4	
2006年8月30日	下刈り作業	日帰り	2	2	0	
2006年9月9日	下刈り作業、全体の経過観察	日帰り	2	1	1	
2006年9月10日	下刈り作業、土壌流出防止作業	日帰り	7	4	3	
2006年10月15日	10月下見(樹木種子結実状況)	日帰り	4	3	1	数回実施
2006年 10月21-22日	<第256回現地講座> 種子採取・精選作業	2日間	20	11	9	協力:東京農大 治山・ 緑化学研究室
2006年10月28日	富士山ボランティア協議会の研修会・ 意見交換会に参加	日帰り	2	1	1	協定林4箇所を見学 当会担当箇所でも実施
2006年10月29日	林道から山取苗採集	日帰り	6	3	3	植林地内へ仮植
2006年11月8日	種子の精選作業	東京農大にて	5	4	1	協力:東京農大 治山・ 緑化学研究室
2006年11月9日	種子の精選作業	東京農大にて	6	5	1	協力:東京農大 治山・ 緑化学研究室
2006年 11月11-12日	植林地整備(土壌流出防止作業) 下刈り試験地の調査 測定	日帰り	7	4	3	
2006年12月3日	植林地微地形図作成のデータとり (GPS測定と簡易三角測量)	日帰り	7	5	2	
年間合計			140	96	82	

2007年活動計画 年間スケジュールは次頁に掲載

これまでに引き続き、年に3-4回の現地講座（会員以外の方に多く参加していただき、観察会などとともに活動を行う）を含めて、月に一度程度は会の定例活動として現地作業や調査を行いに参ります。会員諸氏は、ここに書いてある会公式の活動以外の日程や内容についても、ご自分の試してみたいこと、やりたいことをどんだんご提案・実行して下さいますようお願いいたします（年間スケジュールは次頁に一覧で掲載してあります）。

活動当初は一面のススキ原だったように見えた現地も木が目立つように成長してきました。今年から、低木の密度調整など、より植生の遷移を早めるための作業を行います。

何度かいらしていただいた方には様子がお分かりになるものと思いますが、現地でやりたいことはたくさんあります。みなさまからもどんだんご提案下さい。

富士山協定林での活動に関する連絡先

山の自然学クラブ 富士山国有林協定林担当：中村華子（なかむらはなこ）

【住所】 160-0011 新宿区若葉 1-2-4, 3号 【Fax】 03-5362-7459

【URL】 <http://www.geocities.co.jp/NatureLand-Sky/3070/>

【富士山活動URL】 <http://www.w-gang.co.jp/fuji>

【e-mail】 hana-n@tkb.att.ne.jp

* 富士山用ホームページへ掲載する写真、意見、参加の感想など募集中です！
ぜひ中村宛にお送りください。

Yahoo!ボランティアの登録について

山の自然学クラブは Yahoo!ボランティアの登録団体となりました。Yahoo!では、社会貢献の一環として「インターネット募金」を行っています。閲覧した方が団体の壁紙を購入すると、その団体に募金が送られる仕組みです。詳しくはこちらをご覧ください。

<http://volunteer.yahoo.co.jp/donation/index.html>

2007年度からこちらのサイトで、富士山の森林復元活動への募金を募集していただくことになりました。会員のみなさまには閲覧していただいて、広く活動を宣伝し、協力者を増やしていただきますようお願いいたします。

* * 東京農業大学からの協力について * *

この活動で採取した種はすべて、東京農業大学 治山・緑化学研究室にて精選・管理・保存して下さっています。種子の保存までに必要な工程は非常に繊細で煩雑ですが、そのほとんどを研究室の方々にお手伝い頂いています。採取した種子の大半は富士山の自然に戻していきますが、大学の研究室での実験や郷土種の種が必要になった現場の緑化などにも利用して頂くことになっています。

また私たちが植林地の補植に使用している苗木は、現地で採取した種から東京農業大学の圃場で学生さんが大切に育ててくださったものです。

そのほか、会の活動全般に関して様々な面でサポートをしてくださっています。

福永先生をはじめとする研究室の皆様の多大なるご協力をここに記し、深く感謝します。

2007年度の活動予定（これまでに決定しているもの）

春 = 植栽 夏 = 下刈り 秋 = 種採り が活動の三本柱です。季節に合わせて、下記のような内容で実施します。現地講座は初めての方も楽しめるように日程を組んであります。

日程	開催形態 作業内容	備考・その他
1月 - 3月 数回 (日程未定)	自然再生活動部会打合せ 作業 ・自然観察会資料作成 ・植林地内の見取り図作成 ・植物・昆虫リストの作成 など	2006年に実施決定した室内作業を部会参加者で分担して行う
3月18日 ころ	植栽地内の調査 研究活動 ・冬を越した現地の状況を調査 ・継続している調査の実施	今年植栽に使用する苗木の準備なども行う（今年は農大に苗が少ないので現地での補充が必要）
4月 - 5月 日程未定	<山の自然学現地講座> 山取苗等を補植 周辺の自然観察会も実施(場所未定)	NTT労組東日本支社のボランティア活動・自然観察会受け入れ予定
5月(日程未定)	ボランティア協議会(担当者他少人数にて) 山取り苗の採集をおこなう	この頃協議会の植樹会開催予定
6月9 - 10日	<山の自然学現地講座> 低木の密度調整(下刈り) ・ウツギ類の枝打ち・下刈り ・下刈りした枝を周辺の空地へ挿し木・移植 現地講座形式で周辺の自然観察会を合わせて実施(山から麓まで富士南麓の自然を垂直方向に包括する)	ハイキングクラブ四季の観察会・森林復元作業受け入れ予定 共催で現地講座とする
7月21 - 22日	<山の自然学現地講座> ススキ・低木下刈り作業、土壌流出防止作業 周辺の自然観察会(場所未定)	この頃協議会の共同作業あり
8月(日程未定)	ススキ・低木下刈り作業、土壌流出防止作業	泊まりがけの場合は、活動の検討会と一緒に開催
9月1 - 2日	下刈り作業、土壌流出防止作業	自然観察会の実施も検討
10月 (日程未定)	10月下旬(樹木種子結実状況) 山取り苗の採集もおこなう	春から秋にかけ数回実施
10月20 - 21日	<山の自然学現地講座> 種子採取 精選作業 (協力予定:東京農業大学治山 緑化学研究室)	福永健司先生(講師)、学生数名参加予定 この頃協議会研修会の予定
11月11日	植林地整備(土壌流出防止作業) 調査 研究活動	自然観察会の実施も検討

今年は部会の作業を青山で数回実施する予定です。現地へはなかなか参加できない方も、この機会にどうぞご参加下さい。お待ちしております。